

令和6年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市交流保養センター（大菩薩の湯）			検証日	令和7年7月3日	
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	林 正樹	作成者名	水上 正英
	指定管理者	名称	株式会社 大菩薩				
		代表者	代表取締役 笠原 二三子				
		所在地	東京都中央区日本橋浜町二丁目52番3号1階				
		指定期間	令和5年（2023年）4月～令和8年（2026年）3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市塩山上小田原730番地の1				
		設置目的	恵まれた自然を活かし、都市と農村地域の交流を促進し、温泉資源を利用して市民の健康と福祉の増進を図るとともに、観光資源としての利用と農業振興に資するため、交流保養センターを設置する。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	8名	開館日時間等	○営業時間 10:00～21:00 ○休業日 毎週火曜日・年末年始
	事業概要	サービス提供の内容	(1) 甲州市交流保養センターの利用申請の受付及び利用許可等に関すること。 (6) 施設の維持、管理及び修繕（大規模な修繕は除く） (2) 甲州市交流保養センター使用料の徴収事務に関すること。 (7) 備品等の維持、管理及び修理（大規模な購入及び修理は除く） (3) 甲州市交流保養センター利用料の徴収事務に関すること。 (8) その他施設の管理に関すること (4) 施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること。 (9) 業務の報告 (5) その他日常業務				
自主事業		(1) 飲食提供サービス事業 (2) 市制祭時の施設無料開放等への協力 (3) 館内休憩スペースを活用した企画展の開催					
DO	管理運営コスト推移（千円）	令和5年度（指定期間1年目）	令和6年度（指定期間2年目）	令和7年度（指定期間3年目）	令和8年度（指定期間4年目）	令和9年度（指定期間5年目）	
	予算	指定管理料	20,172	10,133			
		利用料金収入	20,000	25,000			
		その他収入	13,432	16,395			
		管理運営経費	53,604	51,528			
	決算	指定管理料	20,172	10,133			
		利用料金収入	21,557	24,587			
		その他収入	9,963	11,572			
		管理運営経費	60,142	51,520			
	収支	-8,450	-5,228				
施設の稼働状況	令和5年度（指定期間1年目）	令和6年度（指定期間2年目）	令和7年度（指定期間3年目）	令和8年度（指定期間4年目）	令和9年度（指定期間5年目）		
指標	集客数	46,331	55,576				
活動結果	・施設の周知はもとより、食堂の運営や大相撲展の実施など、風呂だけでなく施設全体の魅力も向上させる中で、着実に利用者を増やしている（昨年度より9,245人の増加）。職員の待遇に対する好評な意見も得ており、リピーター獲得の一因と考えられる。						
CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明				
	(1) 事業の運営	4	・協定書に沿った管理運営が行われた。 ・食堂の運営や大相撲展の実施など、施設全体の魅力向上に取り組んでいた。また、職員の待遇に対する好評な意見も得ており、リピーター獲得にも寄与したものと考える。なにより、実績として利用者数が昨年度より9,245人増加しており、その結果に対して高く評価できる。				
	(2) 施設の維持管理	3	・日常点検、法定点検を着実に実施し、施設の適正な維持管理に努めていた。 ・レジオネラ菌の発生防止などの適切な衛生管理を行った。				
	(3) 収入支出	2	・昨年度と比較すると利用者数が増えたことから利用料金収入やその他の収入は増加していることは評価できる。 ・物価高騰の影響で光熱費などが高んだ要因もあったが、当初の収支計画と比較するとマイナス方向に大きな乖離が出てしまった。				
	(4) 総合評価		総合評価の説明（施設所管課による一次評価）				
優良 良好 妥当 要改善 不適	妥当	・物価高騰の影響で光熱費などが高んだ要因もあったが、当初の収支計画と比較するとマイナス方向に大きな乖離が出てしまっており、更なる収支改善を望むところではあるが、食堂の運営や大相撲展の実施など、施設全体の魅力向上に取り組んでいた。また、職員の待遇に対する好評な意見も得ており、リピーター獲得にも寄与したものと考える。なにより、実績として利用者数が昨年度より9,245人増加しており、その結果に対して高く評価できることから妥当と判断する。					
ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応						
	当面の課題	・施設及び設備の更新と修繕のタイミングを見極めていくことが必要である。 ・受益者負担の観点や近隣施設の利用料金も参考に、適正な利用料金についての検討が必要である。					
	課題解決への対応	・指定管理者による日常点検や法定点検の結果等を元に指定管理者と協議を行いつつ、施設及び設備の更新と修繕のタイミングを見極めていく。早期の対応によりトータルコストの抑制ができる可能性があるものは早期の実施を検討していく。 ・当該施設の収支状況や近隣施設の利用料金も参考に、適正な利用料金について検討していく。					
二次評価（公共施設活用等検討委員会での総括意見）							
・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。温泉施設の営業に直結するレジオネラ菌の発生防止などの適切な衛生管理がされている。 ・誘客事業の成果として利用者数が増加しているため、引き続き付加価値を高めるなどして誘客を図っていただきたい。 ・引き続き経費削減を図りつつ、利用料金収入の他、食堂や売店等のその他収入の確保に努めていただきたい。							